

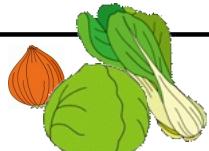


WAVE 52号 ウエーブ

2013年3月

- 2 ひろがろう 協同組合の仲間と
- 3 つながろう全国のワーカーズの仲間と
- 4 INFORMATION

新たな門出「ワーコレこしがや」の再出発



「ワーカーズ・コレクティブとれとれ越谷」へ

受託事業の契約が解除され、新たな道を模索した
「ワーコレこしがや」が新しい方向に踏み出しました

ワーカーズの精神を大事に

「ワーコレこしがや」は、越谷市農産物運営協議会の解散により農産物販売受託事業が契約解除になり、「目的とする事業の遂行不能」の会則に従って平成25年1月末日をもって解散いたしました。

しかし、ワーカーズ・コレクティブの精神である「自主管理」「自主運営」「地域での協働事業」「越谷の農業の活性化」「高齢者に働く機会と場所作り」「消費者に安全・安心・新鮮な野菜の提供」に賛同する7名のメンバーが、今までの経験を生かす場所作りとして「ワーカーズ・コレクティブとれとれ越谷」を平成25年2月1日付で設立いたしました。

本来であれば、「ワーコレこしがや」の名称が消費者に浸透し、馴染んでおりましたが、新たな意気込みの門出として「ワーコレとれとれ越谷」の名称で発足いたしました。



越谷市蒲生交流館の店舗
「とれとれ越谷」

地域と連携し、自主的な事業を続ける

事業内容は、越谷産農産物の販売、越谷市内のイベント会場にて野菜・加工品等の販売、野菜の宅配販売等を行います。

この事業の推進のため、メンバーから出資金、運転資金を集め、事務所の設立、定期的に販売する場所を確保すべき計画を立案いたしておりました。

そんな中、新生「ワーコレとれとれ越谷」の誕生に、行政が全面的に協力、今までと同様に越谷市蒲生交流館の施設を利用できるようになりました。これは越谷市より「越谷の農業振興を推進する」ために資金を出し合って取り組む活動目的及びその内容と約7年に渡る今までの「ワーコレこしがや」の活動内容を評価して頂いたのです。

これからは、自主運営により発生する諸問題が多数出て来ることと思いますが、メンバー一同負げずに乗り越えていきます。今後とも、埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会及び関係者各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

ワーカーズ・コレクティブとれとれ越谷
久木田 豊

